



レスター<3156>、PCIホールディングス<3918>をTOBで子会社化



レスターは9日、組み込みソフトウェアなどIT製品開発のPCIホールディングスにTOB（株式公開買い付け）を行い、子会社化すると発表した。レスターは資本業務提携するPCIに現在5.83%出資するが、TOBを通じて所有割合を50%超に引き上げる。買付代金は54億2100万円。親子関係をつくり、業務上の協力や連携を深化させる。両社が強みとする車載、産業機械、ICT（情報通信技術）市場の深掘りや海外、民生、建機、セキュリティー分野での相互補完などを進める。TOB成立後もPCIの東証スタンダード市場への上場は維持される。

PCI株の買付価格は1株につき1210円で、TOB公表前日の終値849円に42.52%のプレミアムを加えた。買付予定数の上限・下限は所有割合44.67%にあたる448万株。買付期間は8月13日～9月20日の28営業日。決済の開始日は9月27日。公開買付代理人はSMBC日興証券。

PCIはTOBに賛同を表明する一方、TOBに応募するかどうかにについては株主の判断に委ねることを決めた。

PCI創業者で会長の天野豊美氏と親族の資産管理会社であるY&U（東京都千代田区）が所有する5.64%の株式についてはTOBへの応募が予定されている。

PCIの前身は2005年に設立したM&Sで、ITシステムの開発・運用などを開始。2006年に持ち株会社制に移行し、07年に現社名に改めた。2015年に東証マザーズ市場に上場し、16年に東証1部に昇格。2022年4月に東証プライム市場に移行した後、23年10月に東証スタンダード市場に変更した。

レスターは2018年にPCIと資本業務提携し、部材調達や営業サポート、技術支援などの協業を進めてきた。ただ、緩やかな資本関係では両社の目指す方向性や利害が一致せず、相互に取引先の延長としての存在にとどまることから、相乗効果の創出に限界があったという。